

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月11日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102857		
法人名	マイクロテスト株式会社		
事業所名	それいゆ学園前		
所在地	奈良県奈良市学園朝日町7-9-1 (電話) 0742-41-6736		
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会		
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内		
訪問調査日	平成19年12月4日		

【情報提供票より】(19年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 9人、非常勤 15人、常勤換算 10.6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	95,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	600000円	有りの場合 償却の有無	有(期間:2年)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	2名	要介護2	8名		
要介護3	7名	要介護4	1名		
要介護5	名				
年齢	平均 83.7歳	最低	69歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西奈良中央病院・中島クリニック・池元歯科医院・郡山青藍病院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、住宅地の中の既存建物を購入され温もりが感じられるように改装し開所されています。「心はずむ・やさしさの輪」を運営の基本とされ、利用者は持っている能力や機能を発揮しつつ、地域社会との関りの中で安心・充実した生活を送られています。職員等も利用者の思いや尊厳を大切に支援されています。また、毎年、家族も一緒に1泊旅行が実施され、家族との絆も大切にされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>運営理念の明示については、分かり易くする為に大きさを工夫され、また、積極的に草刈や清掃に参加され地域社会との交流にその広がりが見られます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に対する目的・意義について深く認識され、実施に当たっては全職員の参画の下に内容を検討・分析され、課題の解決と質の向上への取り組む機会と捉えられています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は設置されていますが、出席者が少なく十分機能していない現状にあります。この会議は質の向上や運営課題の解決に極めて重要な機能がありますので、メンバーへの理解促進と出席要請に努められることを期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問時に職員が積極的に話し掛け、意見・苦情・不安などについて聞きだし、問題点を整理しサービスに活かす取り組みがなされています。また、家族会も年2回開催され相談・苦情等自由な意見交換の場が持たれています。なお、暮らしに活かす意見を聴取する為に投書箱も設置されています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者も地域社会の一員として自立する為に、経験や能力を生かして社会活動(草刈・清掃等)に参加され、地域との関りを大切にされています。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との結びつき重視を柱とした運営方針が定められており、地域と共に利用者を支援していく取り組みがなされています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームのフロアと事務室に運営理念の掲出があり、毎日の申し送り時等には理念の唱和・確認がなされ、実践に活かす取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との関りの大切さを強く認識され、訪問による交流に留まらず、地域の清掃や草刈等の社会活動にも積極的に参加され、幅広く交流がなされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義・目的を正しく理解されており、自己評価に当たっては全ての職員参加の下に検討・分析され、課題の解決と質の向上へ取り組む機会とされています。また、外部評価の結果は職員等に周知され、支援の中に活かす取り組みがなされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーは幅広くから選任され、会議が開催されていますが、出席者が少なく十分機能するところまで至っていないと感じられます。		運営推進会議設置の意義・目的等について理解されていますが、メンバーに対する理解を深める取り組みや協議事項の設定等に課題があるように感じられますので、検討されることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への参加依頼と共に、行政の担当窓口を定期的に訪問され、ホームの現状の報告や課題の相談・情報交換等積極的な姿勢が見られます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時には、必ず生活の様子の報告がされるほか、健康状態についても適宜連絡されています。また、金銭管理についても、自己管理されている方・保管管理されている方それぞれについて、定期的に明細書を添付され報告がなされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時を捉え、意見・希望等を聞きだす取り組みがあり、年2回開催される家族会でも運営に係る意見聴取等がなされています。なお、ホームの入り口に投書箱を設置され、自由に意見を開陳することができ、寄せられた内容を検討され暮らしの支援に活かす事とされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員異動による利用者が受けるダメージが大きい事を十分認識され、馴染みの関係を大切に必要最小限に止める様に配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月社内及び事業所内で職員自らテーマを決め講師となる研修会が持たれ、資質の向上と職員の育成が図られています。なお、外部の研修参加についても、その必要性を認識され十分配慮されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービスの質の向上を目指す上で、同業者等との交流は有意義と認識されていますが、管理者等幹部職員の交流に留まっています。		適切な運営を推進するためには、職員による交流も必要と考えられていますので、具体的に実現されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用は本人の納得が前提であることから、施設見学はもとより体験利用の試みもなされ、安心したスムーズな移行に繋ぐ取り組みがなされています。また、家庭を訪問され、本人の生活環境を確認の上、居室を馴染みの生活環境に工夫するように努められています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用時の聞き取りで得た情報や暮らしの中での行動等を参考に、本人の能力が発揮できる機会を提供され、充実・安心した生活維持に協働する支援を心がけられています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族の訪問時等に、希望・意向を確認されると共に、定期的なアセスメントの実施とモニタリングを下に職員間で検討され、本人本位の支援に努められています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らし続けることを視点に、家族や担当医師と相談・話し合いがされ、希望や要望を反映させつつ、課題やケアのあり方を長期・短期に目標設定された介護計画の作成に努められています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に関らず利用者の状態に変化が見られる時には、職員を中心に関係者が相談し、随時介護計画の見直しが行われています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望(墓参・自宅での慶事・買い物等)には、家族等の状況を勘案され、送迎等必要な支援を柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用時に家族や本人に説明され、受診は協力医療機関で行う事を基本とされていますが、希望があれば、個別の病院受診にも応えられています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応については職員間で話し合いがされ、その重要性について共通理解がなされています。しかし、解決すべき課題も多くあり明確な方針を樹立するまでには至っていません。		家族等にとって、終末期への関心は極めて高いと思われますので、その対応も検討されていることから、体制の整備と方針の明確化・共有化に努められる事を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳遵守を支援の基本とされ、職員は常にその言動には心がけられています。また、個人記録の取り扱いについても、諸台帳の管理はもとより、情報提供についても、しっかり認識されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れの設定はありますが、利用者の状態や思いを優先させた支援に努められています。また、個別のレクも実施されていますが、好みを選択され利用者は自分のペースで生活されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理場はオープンになっており、調理や盛り付けの様子が伝わり、利用者も能力に合わせ調理の準備や下・配膳等に関り、また、職員と一緒に同じ食事を和やかに摂られています。なお、日によっては、ユニット毎に食事の内容を変え、「お隣さん」の感覚を味わう環境とされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定はありますが、利用者の状態や 夜間帯を含む希望に合わせて、弾力的な支援がなされています。		経年と共に利用者の機能低下は否めませんので、浴槽の高さについて検討を進められることが望まれます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や能力を勘案され、出来そうな事(食事準備と後始末・洗濯・掃除等)を見極めて、自然な形で行動に移れる場面を作り、役割や楽しみ醸成への支援に工夫されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける刺激は、気分転換やストレスの解消に効果があることから、周辺の散策と共に近くの喫茶店に行ったり、ドライブ等ゆったりした時間が持てるように支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は来訪者もあることから入る時は自由となっており、出る時は職員の操作で開錠されます。この事については、家族の希望を取り入れ行われています。また、建物の構造上の問題からエレベータの利用する際には、職員が操作・同行支援することとされています。		1階が通所介護施設である事から、混乱の回避と安全確保のために施錠されていますが、出る際の鍵のあり方について検討されることを期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元の消防署の指導の下に、消火・避難訓練が定期的に実施されており、緊急時の通報システムの整備と避難経路や誘導方法について、職員に周知が図られています。		運営推進会議のメンバーに地元関係者が居られることから、被災時の協力支援体制を構築される事が望まれます。また、被災時に備え最小必要物品の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給については、介護記録に詳細に記録されており、適切な支援がなされています。なお、水分補給については、利用者の状態に十分な配慮がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清掃の行き届いた共用空間には、家庭的な調度品の配置や雰囲気を損ねない程度に絵画と利用者の作品が掲出されており、ゆったりした気分で過ごせる場所となっています。また、季節感を味わう事への装飾等に工夫がなされています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は、使い慣れた調度品や好みの物が持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっています。		